

# MYターン

北海道出身

Uturn



## 塚田眞樹子建築設計

建築家

塚田 眞樹子 さん

塚田さんは、2019年9月末に東京都から北海道へ。東京でのキャリアや起業・独立に至る経緯、Uターンのきっかけ、現在のお仕事と北海道で起業する方へのメッセージについて伺いました。

### これまでのキャリアと独立・起業

#### 構造設計から建築家の道へ自分の作品を作るために起業

大学卒業後は大林組というゼネコンで建築構造の設計を担当していましたが、建築全体の設計に携わりたいと考え、二人の建築家に師事しました。それぞれの事務所で建築の実践を学んだ後、「一つだけでも自分で発想した建築を作りたい」という思いに駆られ、自分の設計事務所を設立しました。完成した作品を建築の専門誌に発表したことをきっかけに建築家としての道が開け、国内だけでなく海外でも作品を紹介していただけるようになりました。

建築家は、ただ図面を引くだけではなくて設計に思想をこめる職業です。人々が快適に過ごすためには、環境のためには、未来のためには、そういうことを考えて、建物や庭、街並みなどを設計します。環境の最適解をさぐるのが、大切な仕事だと考えています。

### Uターンの決意から移住まで

#### 北海道の問題に腰を据えて取り組むためにUターンを決意

少し前までは北海道に戻るといふ考えはありませんでしたが、地域の人口減少などの社会問題について建築の視点から何が出来るか少しずつ模索していました。また、海外の学生からインターシップの希望があっても、東京では生活費の面で大きい負担を強いることになるためほとんど受け入れることができないことにも頭を悩ませていました。

そういったタイミングで、ウルクアイ共和国大学に招かれ講演と授業を行う機会がありました。授業のテーマは、北海道の廃校予定の小学校のグラウンドを観光資源として活用するための計画でした。雪を知らない学生たちが熱心に課題に取り組む姿勢は新鮮で、私にとっても故郷そして地方の抱える問題を考えておすきかけとなりました。

北海道で起きている問題を考える時、東京の生活を続けたままでは結局は

他人事になってしまうのではないかと。本当に意味のある仕事をするためには、その場所自身を置き腰を据えて取り組む必要があると考え、移住の検討を始めました。

#### 道在住の身内のアドバイスも勘案して居住地を選定

当初は、北海道の中でも特に人口減少が進んでいるような地域に移住して、自分の資金でその地域に貢献する計画を立てていました。しかし、北海道にいる身内から「北海道全体に貢献することを考えてほしい、そのためにはもっと活動しやすい場所を拠点にしたほうがいい」と言われ、札幌からは近いけれど人口減少の問題も抱える石狩市に事務所を決めました。住んでみるとやはり、実際に居住している人のアドバイスには理由がありました。今では、この場所を選んでよかったと思っています。

移居前、「これまで積み重ねてきたものが無駄になるのでは?」という意見もあり、不安や寂しさもありましたが、それでも「北海道で何かをしたい」という気持ちが勝ったのだと思います。

### 現在の仕事・生活と将来の目標

#### 夢の実現に向けて「考える」

現在、仕事は新型コロナウイルスの影響を受けていますが、時間ができた分これまで時間に余裕がなくてできなかったことに取り組んでいます。

負のできごとをマイナスとして受け止めて終わるのではなく、マイナスな状況でも見方を変えてプラスに捉えたいと常に思っています。例えば庭の草取りも、雑草の薬効を調べて食材に取り入れるなどして北海道の生活を楽し

んでいます。

この情勢で社会の価値観が今までとは変わってしまう可能性もあります。しかし逆に考えると、今まで叶わなかったことが実現できるかもしれないと思うことにしています。

東日本大震災の復興プロジェクトを構想した時、こちらの社会貢献の思いが伝わらず断念したことがありました。そんな経験もあり、ずっと自分の胸の中にしまっていた夢があるのですが、「実現は無理」とも思っていました。しかし今の目標は、夢として終わらせないための方法を探り、実現に向けて「考える」ということですね。

### Uターンを考えている方へのメッセージ

#### 東京と変わらない仕事環境これから広がる可能性

私が地方でも仕事ができると思えたのはネット社会の進化に拠るところが大きい。Uターンを機に、事務所の仕事は遠隔で業務を手伝ってもらい体制を整えました。現場管理の仕事も、現地の専門家と動画を使ったやりとりができれば問題ありません。工夫をすれば東京にいた時と何も変わらずに仕事ができます。

さらに、車の自動運転の技術が進めば、地方に住むマイナス面は徐々に解消されると思います。私が一番の問題だと考えている地方における教育の格差も、オンライン授業を活用できればトップレベルの教育が世界中で平等に受けられるようになるでしょう。他方で、自然環境・住環境など地方起業のプラスもあります。

北海道の生活は雪がネックだと思いますが、思っていた以上に除雪をしっかりやってくれるので、心配ないようです。ただ、玄関先だけは自分でやる覚悟が必要ですね。

地方移住前には心配ごとも多いですが、対策を立て克服していく楽しみもあります。実際に居住している人に不安点を相談してみるのも良いですね。

### わたしのOFF TIME



昨年秋北海道に拠点を移し「さあこれから」と意気込んでいたが、コロナ禍で春スタート予定のプロジェクトが延期になったことで、

時間に余裕ができました。そこで、おやつ作りに挑戦しました。せっかくならコロナに負けないための健康を意識したおやつをつくらうと考え、食材に発酵食品と

米粉、そして道産材を使うことにしました。

当時まで近所づきあいがほとんどなかったため、これを機に改めてご挨拶しようと、近所の方にお裾分けできる量を作りました。

その際私たちの仕事の機微を感じていただくために、すこしは建築家らしく、と思い、美味しさだけではなく、美しさや食べた時に驚きを感じていただける工夫もほんの少し加えてみました。

近所の方には、お返しにとたくさんの野菜をいただきました。北海道ならではの喜びです。

### 塚田眞樹子建築設計

設立：(東京)1995年/(北海道)2019年

代表：塚田眞樹子

所在地：北海道石狩市花畔352-8

事業内容：建築設計

▶ 詳しい情報は

<http://makikotsukada-architects.jp>

〈略歴〉

1961年12月 北海道生まれ

1993-94 坂茂建築設計

1986 北海道大学工学部建築工学科

1995 塚田眞樹子建築設計設立

1986-89 大林組構造設計

2019 北海道に拠点を移す

1989-93 竹山実建築総合研究所